

# 茨建協

# ニュース

# 2022/1

No.630



△ 主な内容 △

- ▼ 年頭ごあいさつ
- ▼ 4支部が豚熱発生で防疫活動に尽力
- ▼ いばらき建設フォトコンテストの受賞者決定
- ▼ 「いばらき建設図鑑」が完成

本会ホームページに「茨建協ニュース」の内容を掲載しています。ご活用ください。

**本会はコンプライアンス(法令遵守)をさらに徹底します**

発行 (一般社団法人) 茨城県建設業協会

〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

電話 029-221-5126 (代)

H P <http://www.ibaken.or.jp/>

編集 日本工業経済新聞社・水戸支局



一般社団法人 茨城県建設業協会

会長 石津 健光

明けましておめでとうございます。

令和4年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

平素は、当協会の事業運営に対し格別なるご支援、ご協力を賜り、改めて厚く御礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、感染防止対策と社会経済活動の両立を模索する1年となりました。

そうした中で開催された東京オリンピック・パラリンピックにおいて、日本選手団の活躍はもちろんのこと、世界各国のアスリートの活躍は、私たちに勇気と希望、そして多くの感動を与えてくれました。

一方、建設業界においては、社会基盤整備事業について、緊急事態宣言下においても継続が必要な事業とされていることから、感染防止対策に万全を期し、災害復旧工事や道路・河川整備など、県民生活に直結する社会資本整備に継続して取り組むことが求められました。

感染の急速な拡大により、工事遅延等の発生も懸念されたところですが、関係各位のご尽力により、現場の閉鎖や工事の中断等を発生させることなく、円滑な事業推進を図ることができたと考えています。

また、昨年2月には、県内で15年振りとなる高病原性鳥インフルエンザが発生し、当協会では、水戸支部を中心として、周辺支部の協力を得て、延べ約1,800人を派遣し、24時間体制で防疫作業にあたりました。

建設業が地域の安全・安心の守り手として、災害対応に加えて、防疫作業においても大きな役割を果たしているということを、各方面に広く認識してもらうことができたと考えています。

ここに改めて、地域の安全・安心を守るという強い使命感を持って、作業に携われた会員各位に感謝申し上げます。



建設業界は、少子高齢化が急速に進む中、現場の技能労働者の高齢化や若手入職者の確保難といった構造的な課題に直面しています。

このため、当協会では、担い手確保に向けた働き方改革やICT活用による生産性向上に取り組むとともに、「建設未来協議会」や「建女ひばり会」の活動を中心として、建設業のイメージアップ、若者や女性が活躍できる建設産業づくりに取り組んでいるところで

す。これに加えて、昨年7月には「いばらきダイバーシティ宣言」を行い、建設産業で働く一人ひとりが個々の能力を発揮し、活躍できる環境づくりを更に進めることとしました。

さらに、働き方改革については、令和元年度から開始した県内公共工事の一斉休工期設定の取り組みについて、この4月からは、毎月第1～第4土曜日の月4回に拡大したいと考えていますので、関係各位のご理解、ご協力をお願いしたいと思います。

国においては、激甚化する風水害や切迫する大規模地震等に対応するため、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を閣議決定し、昨年より集中的な対策が開始されたところです。

地域の建設業は、地域経済と雇用の下支えをする基幹産業であると同時に、災害等の発生時には、最前線で応急対応を行う「地域の守り手」という重要な役割を担っていますので、国土強靱化対策事業の円滑な実施に協力するとともに、災害対応など、「地域の守り手」としての取り組みの更なる強化に努める必要があると考えています。

次代を担う人材の確保・育成に不可欠な「働き方改革」等に取り組む、新しい3K「給与がよくて、休暇が取れ、希望が持てる」業界に衣替えする努力を重ね、我々に求められる社会的使命を継続して果たして行きたいと考えていますので、皆様方の、より一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、建設業の益々の発展と皆様方のご健勝とご多幸を心からご祈念致しまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



## 茨城県知事

## 大井川 和彦

## 自ら未来を切り拓く新しい茨城づくり

新年あけましておめでとうございます。

時代は今、コロナ禍の影響による人々の価値観や生活様式などの変化に加え、気候変動問題、AIの進歩による社会構造の変化、人口減少など、これまでとは全く環境が異なる予測困難な「非連続の時代」を迎えており、私たちには、前例踏襲や横並びではなく、変化や失敗を恐れず、新しいことに果敢に挑戦し、自ら未来を切り拓いていくことが求められています。

県といたしましては、茨城の潜在能力を引き出してき



たこれまでの改革路線のもと、「新しい茨城」づくりに向け、「新しい豊かさ」「新しい安心安全」「新しい人財育成」「新しい夢・希望」の4つのチャレンジを常に進化させながら加速してまいります。

特に、安心安全な社会の実現は県政運営の基本であることを踏まえ、自然災害から県民の生命と財産を守る「災害・危機に強い県づくり」に向け、ハードとソフトの両面から実効性の高い防災・減災対策を推進してまいります。

また、地域活力を維持・発展させていくため、その基盤となる道路や港湾をはじめとするインフラの整備・老朽化対策についても着実に進めてまいります。

さらに、カーボンニュートラルやDXの推進などの課題にも積極的にチャレンジしてまいりたいと考えております。

今後とも、「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現を目指し、全力で取り組んでまいりますので、なお一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

## 一般社団法人 全国建設業協会

## 会長 奥村 太加典

令和4年の新春を迎え、謹んで年頭の挨拶を申し上げます。

平素は、全建の事業活動に対し格別のご支援・ご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

昨年を顧みると、一昨年より続く新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、わが国でも1日の新規感染者が全国で2万5千人を超える深刻な状況に陥り、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置による社会経済活動の制限が長期化するなど、感染拡大への対応に追われる1年となりました。

一方で、1年の延期を経て開催された「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」は、ほとんどの会場で無観客開催となったものの、世界中から集まった多くのアスリートやパラアスリートによる延べ30日にわたる熱戦が各地の競技会場で繰り広げられ、その活躍は世界中の人々に勇気と感動、そして希望をもたらし、コロナ禍で混乱が続く厳しい社会情勢の中、明るい話題となりました。

10月以降は、わが国でもワクチン接種など様々な対策が功を奏し、感染状況に落ち着きが見られつつありますが、感染力の強い新たな変異株の感染拡大が懸念されるなど、新型コロナウイルスとの闘いは長期化が避けられないと見込まれています。

ウィズコロナの状況においても社会経済を活性化させるためには、感染防止対策や医療体制の充実とともに、未来を切り拓くための成長戦略として、積極的な財政出



動による公共投資を機動的に推し進めることで、内需を振興し、雇用を拡大することが不可欠です。

また、気候変動の影響により近年自然災害が頻発化、激甚化しているなか、昨年も記録的な大雨により、7月に静岡県熱海市で大規模な土砂災害が発生したほか、8月には全国各地で河川の氾濫に伴う橋や道路の崩壊が発生し、尊い人命や貴重な財産が失われました。

このような大規模な自然災害などに屈しない強靱な国土づくりを目的として、昨年4月から政府が新たに「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に取り組んでいます。これまでの3か年緊急対策より実施期間や予算規模、事業範囲が大幅に拡充されており、防災・減災、国土強靱化の取組の更なる加速化・深化が図られることを期待しております。

地域建設業は、これまで人々の安全・安心を守る「地域の守り手」としてその社会的使命を果たしてまいりましたが、来るポストコロナの新しい時代においては、「新しい地域の創り手」として、人々が豊かで持続可能な生活を営むために必要な社会生活基盤づくりの担い手としての役割も務めていかなくてはなりません。これからもこれらの使命を果たしていくため、社会資本の整備が計画的かつ安定的に推進されるよう政府や関係機関に広く訴えていくとともに、経営基盤の強化や、担い手の確保・育成、生産性向上、働き方改革など、克服すべき諸課題の解決に積極的に取り組んでまいります。

本年も、全建は47都道府県建設業協会並びに会員企業の皆様方と一体となり、地域建設業発展のため全力で取り組む所存でございますので、ご理解とご支援のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、皆様方の益々のご多幸とご健勝を祈念いたしまして、私の年頭の挨拶とさせていただきます。

## 銚田、土浦、竜ヶ崎、筑西支部

# 豚熱の防疫作業に尽力 ―「地域の安心を守る」使命果たす

本会の銚田支部（羽生義隆支部長）、土浦支部（小林伸行支部長）、竜ヶ崎支部（細谷武史支部長）、筑西支部（小薬拓巳支部長）は昨年12月25日と26日、豚熱が発生した宮城県の農場から本県内の農場へ移されていた豚等の防疫作業を行いました。合計43名が埋却等の作業に尽力しました。

「地域の安全・安心を守る」という本会の社会的使命を果たした関係者に、あらためて感謝申し上げます。

作業は、本会が茨城県と締結している「特定家畜伝染病発生時の防疫業務に関する協定書」に基づき、県からの要請によって行いました。



4支部の43人が防疫作業に従事しました

豚熱は宮城県で12月25日に発生が確認され、当該農場から本県内の6農場に生体等が移されていたため、防疫作業を行うことになりました。

## 経営企画委員会

# CCUS活用へ勉強会



経営企画委員会（佐々木孝夫委員長）は昨年12月1日、建設キャリアアップシステム（CCUS）の活用へ勉強会を水戸市の茨城県建設センターで開催。制度の概要、制度導入にあたっての課題の解決方法、導入助成金の活用などを研修し、CCUSの利点などを確認しました。佐々木委員長は「多くのことを質問して吸収し、身に着けていただきたい」とあいさつしました。

# 働き方改革で オンラインセミナー



本会は昨年12月2日、建設業における働き方改革オンラインセミナーを開催。働き方改革に対応すべきこと、現場での労働時間管理のポイント、労使トラブルの事例、建設業の就業規則などについて研修しました。

セミナーは、働き方改革に対応した労務管理の確認や、建設業の課題である若年者の入職への管理体制、入職者の定着率を上げるための仕組みづくりを研修するために開催したものです。

県内の優良事例の紹介も行われました。



## 建女ひばり会 女性目線で現場パトロール



女性の視点から現場を点検しました

本会の「建女ひばり会」（柳瀬香織会長）は昨年12月7日と14日、女性が担当している工事の現場パトロールを実施。女性の視点から現場環境を確認しました。

12月7日は取手市桐木地内の舗装修正工事の現場で、12月14日は水戸市内原町の調整池整備工事で実施。同会が作成したチェックシートで現場事務所やトイレなどを点検。現場代理人の聞き取りも行いました。

柳瀬会長は整理整頓された現場事務所や快適トイレを高く評価。「生き生きと現場で働いているようすが印象的でした」と総括しています。

## 建設未来協議会 働き方改革へ県と意見交換



現場の課題などで意見を交わしました

本会の建設未来協議会（鈴木達二会長）は昨年12月14日、茨城県の高萩工事事務所（佐竹義人所長）と常陸太田工事事務所（木村政美所長）との合同意見交換を高萩支部会館で開催。高萩・太田地区会員と事務所幹部が参加し、総合評価の取り組みやICT活用、働き方改革などについて活発に意見を交わしました。

鈴木会長は「発注者と受注者がタッグを組んで地域のインフラ整備に尽力してまいりたい」、未来協の須田要介高萩・太田地区幹事は「ICT化など変革期に起こる問題点について地域性を踏まえながら意見を交換していきたい」と述べました。

令和3年度

## 茨城県技術者表彰受賞者

（12月表彰分）  
※受賞者（企業名）  
敬称略

### 【茨城港湾事務所】

#### ※日立港区

- ◆佐藤時雄（㈱秋山工務店）
- ◆和地弘（小林建設㈱）

#### ※常陸那珂港区

- ◆竹島寛  
（岡部・秋山特定建設工事共同企業体）
- ◆鈴木俊介  
（常総・菅原特定建設工事共同企業体）
- ◆関澤康広（㈱井滝建設）

### ※大洗港区

- ◆平澤顕  
（菅原・田口特定建設工事共同企業体）

### 【流域下水道事務所】

- ◆稲富昌則（㈱亀山工務店）
- ◆小松崎洋文（市村土建㈱）

### 【県北農林事務所】

- ◆寺門力也（㈱梅原工務店）
- ◆五十嵐治（河北開発㈱）

### 【県央農林事務所】

- ◆杉森敏明（㈱綿正工務店）
- ◆安見幸夫（芳野工業㈱）
- ◆高木健一（仙波建設㈱）
- ◆横須賀健太（㈱秋山工務店）

### 【県南農林事務所】

- ◆宇津野賢市（谷原建設㈱）
- ◆大野晃一（伊奈工業㈱）
- ◆石島美樹雄（原信田建設㈱）
- ◆丹野利秋（東開工業㈱）

# 支部活動報告

## 水戸支部



### 働き方改革などで意見交換

水戸支部（下田德行支部長）と同支部の建設未来協議会会員は昨年11月29日、茨城県水戸土木事務所（羽成英臣所長）との意見交換会を県水戸合同庁舎で開催。働き方改革や生産性の向上に向け、完全週休2日制やICT活用促進などについて議論を交わしました。

## 常陸大宮支部



### 安全意識向上へ講習会開催

常陸大宮支部（高野潔支部長）は昨年12月10日、茨城県常陸大宮土木事務所（石川博章所長）と労働安全講習会を支部会議室で開催。労働災害の現状や安全への取り組み、工事検査の留意点を研修しました。高野支部長は「講習を通じ業務に役立ててもらいたい」と話しました。

## 水戸支部



### ICT活用で省力化を

水戸支部（下田德行支部長）は昨年12月3日、ICT活用による省力化セミナーを茨城町の日本キャタピラー合同会社茨城営業所で開催。ICT技術の活用による現場の効率化について理解を深めた後、最新のICT建機の試乗や測量機器を体験しました。

## 大子支部



### 安全な現場環境へ合同点検

大子支部（大藤博文支部長）は昨年11月25日、茨城県大子工務所（山田道雄所長）と共に建設工事現場の合同点検を実施。県発注の現場5カ所を巡回し、安全対策や現場環境の改善などの点検を行いました。結果について大藤支部長は「今後に役立てていきたい」と話しました。

## 水戸支部



### ICT設計データの作成研修

水戸支部（下田德行支部長）は昨年12月9日、茨城県土木施工管理技士会と共にi-Constructionで使用する設計データの作成方法と利活用のセミナーを水戸市の茨城県水戸合同庁舎で開催。参加した技術者は設計データ作成の留意点などを学びました。

## 大子支部



### サイクルルートで清掃奉仕活動

大子支部（大藤博文支部長）は昨年12月6日、大子町内のサイクリングルート「奥久慈里山ヒルクライムルート」の清掃ボランティア活動を実施しました。19社55人が参加。大藤支部長は「サイクリングと自然を楽しんで頂きたく道路清掃を行いました」と話しています。



# 支部活動報告

## 大子支部



### 県と講習会・意見交換会

大子支部（大藤博文支部長）は昨年12月9日、茨城県大子工務所（山田道雄所長）との講習会と意見交換会を開催。電子契約の導入や情報共有システムなどについて理解を深めました。大藤支部長は「県北地域の山間部でもDXを活用していく必要がある」と話しました。

## 潮来支部



### 若手技術者が県職員と研修

潮来支部（松崎里志支部長）の若手技術者は昨年12月9日、茨城県の出先事務所（潮来土木、鹿島港湾、鹿島下水道、鹿行水道）の若手職員と研修会を開催。未来のために学び合いました。松崎支部長は「新しい視点から意見を出し合って、課題や問題点の共有を」と述べました。

## 高萩支部



### DX導入へ電子契約説明会

高萩支部（秋山光伯支部長）は昨年12月15日、茨城県高萩工事事務所（佐竹義人所長）と共に電子契約や現場の施工体制に関する講習会を支部会館で開催しました。秋山支部長は「電子化やICT化に積極的に取り組む必要がある。理解を深めてほしい」とあいさつしました。

## 常総支部



### 生産性向上へ県と意見交換

常総支部（中川原勇支部長）は昨年11月30日、茨城県常総工事事務所（浦和振所長）との意見交換会を支部会館で開催。生産性の向上へ総合評価方式の基準改定や情報共有システム（ASP）導入、工事書類の簡素化などを要望し、活発に意見を交わしました。

## 潮来支部



### 円滑施工で県と意見交換

潮来支部（松崎里志支部長）は昨年12月6日、茨城県の出先事務所（潮来土木、鹿島港湾、鹿行水道）との意見交換会を同事務所で開催。電子契約や遠隔臨場の導入、総合評価方式の改定について情報を共有したほか、工事発注時期や資材価格高騰への対応などを要望しました。

## 常総支部



### 年末で現場パトロール

常総支部（中川原勇支部長）は昨年12月9日、支部役員による年末現場安全パトロールを実施。下妻・八千代地区、石下・水海道地区、八間堀川の会員事業所の工事現場9カ所について、管理体制・建設機械・クレーン使用の安全点検を実施しました。

## いばらき建設図鑑が完成

小中学校などに贈呈



本会と茨城県魅力ある建設事業推進連絡会議（CCI茨城）は、建設やインフラの魅力を伝えるビジュアルブック「いばらき建設図鑑」を制作。県内の小中学校や図書館などに寄贈しました。

昨年12月23日には、石津健光会長と建設未来協議会の鈴木達二会長が県庁を訪れ、小泉元伸県教育長に図鑑を贈呈。贈呈数は合計8,173冊です。

石津会長は「小中高生や大人も楽しめる内容となっている。建設業の理解が深まる一助になることを期待したい」とあいさつしました。

いばらき建設図鑑はA4判カラー22ページ。



石津会長（中央）と鈴木会長（左）が小泉教育長（右）に図鑑を贈呈しました

## 優れた44作品を表彰

いばらき建設フォトコンテスト

本会と建設未来協議会は「いばらき建設フォトコンテスト2021」の入賞作品として、応募がありました438点の中から44点を決めました。

最優秀賞は、A部門「建設のある茨城の風景」では萩原晃氏の「アーバン・リニューアル」、B部門「人と建設のつながり」では今野剛典氏の「富士を背に」が受賞。そのほか特選8作品、準特選2作品、U22特別賞2作品、入選30作品を選定しました。



【建設のある茨城の風景・最優秀賞】アーバン・リニューアル



【人と建設のつながり・最優秀賞】富士を背に

いばらき建設フォトコンテストでは、建物、道路、橋、港湾、トンネル、ダムなど人の暮らしを支え、街をつくる「建設」のある風景を募集しました。

上位の入賞作品はイベントや公

共施設への展示、ホームページなどで配信します。本会の令和4年のカレンダーにも採用しています。

## 会員の動向

### 〈代表者変更〉

#### ▽水戸支部

和多屋建設工業(株) 大島のり → 福田公一

#### ▽竜ヶ崎支部

大竹重機建設(株) 大竹康雄 → 大竹幸男